

①

[11月10日（日）令和6年度神山連区防災訓練を行いました | 神山連区地域づくり協議会](#)

11月10日（日）午前9時より神山小学校運動場とアリーナで、令和6年度神山連区防災訓練を行いました。

町内回覧で参加者を募集し、大人、子ども約250名が参加しました。**内容は昨年度とほぼ同様で、5つのグループに分かれて5つの訓練を15分ずつ行いました。**訓練は八幡消防署、医療法人山下病院など多くの方の協力で明さん真剣に取り組んでみえました。いざという時は今回の訓練を生かして近所の助け合いと、普段から災害に備えて一人一人ができる限りの準備をお願いします。

②

[9月8日（日）避難所開設訓練を行いました | 神山連区地域づくり協議会](#)

午前10時から市・危機管理課指導のもと段ボールベッドの組立て、市・上下水道部より**応急給水栓の説明、八幡消防署職員の講演**があり、終了後は各班の作業内容の見学を行いました。アリーナの照明はアリーナ東屋外に発電機を配置し、15mケーブルで配電盤に接続し実際に外部電源で点灯することを確認できました。応急給水栓は正門南側トイレ付近のマンホールを開け、ホースで応急給水栓に接続し飲料水が確保できることを確認できました。また日本赤十字神山分団が炊出し訓練を行いました。

③

[11月24日（日）八幡2丁目防災訓練を行いました | 神山連区地域づくり協議会](#)

11月24日（日）午前9時より稲荷公園で、**八幡2丁目防災訓練を行いました。大人、子ども合わせて約60名が参加しました。**

2部構成で、第1部は八幡消防署の指導により5種類の訓練を4グループに分かれて15分ずつ行いました。訓練途中で消防の緊急出動の連絡があり、八幡消防署員が手際よく出動態勢に入り消防車が現場へ向かう緊張の場面がありました。

第2部は①災害発生時の行動シミュレーションで、八幡2丁目各班班長と自主防災組織委員が前に並び、大災害発生を想定して八幡2丁目災害対策本部を立ち上げ、町会長は各班より被害状況の報告を受け、状況に応じて自主防災組織の消火班などの必要部隊派遣指示を出し、被害状況は模造紙に書き出し一目でわかるようにしました。この中には民生委員も含まれ、一人暮らし高齢者の被災状況を報告しました。全班報告を受けた後、災害対策本部より、この被災状況は市や連区の災害対策本部と共有すること、地震などの対災害が発生した場合は緊急避難場所（稲荷公園、雨天時は雲願寺）に集合すること、普段から近隣住民の顔がわかる関係作りのお願いがありました。

第2部②は希望者のみ避難所となる中部中学校に移動して防災備蓄倉庫の見学を行いました。倉庫には200人分の床に敷くマットや布団が入っているとと、地震で家屋が倒壊していなければ避難所は必要とする人が優先して使用できるよう、各自、水、食料、カセットコンロなど自宅で生活できるよう準備するようお願いがありました。

八幡 2 丁目は神山連区内 39 町内の中で、毎年地域住民が多数参加して防災訓練を行う数少ない町内です。基本的な訓練の他に、毎年独自の「町内会の防災訓練」を取り入れて素晴らしく大変参考になりました。

参考

④

[11 月 4 日（月・祝）令和 6 年度大徳連区防災フェスを見学しました | 神山連区地域づくり協議会](#)

11 月 4 日（月・祝）大徳連区様のご厚意により、令和 6 年度大徳連区防災フェスを見学させていただきました。

昨年までの防災訓練から自由参加の防災フェスに変更し初開催でした。参加者は 250～300 名で、事前に大徳小学校の協力で保護者に案内されたこともあり親子連れが多数あり、ご高齢の方も長生会関係で来場されていました。

フェスは尾西消防署ではしご車乗車体験、その他は大徳小学校で行い、体験ブースごとにスタンプ押印や防災クイズを行いました。はしご車乗車体験は対象を小学生高学年に限定したこともあり約 20 名参加で予定より早く終了しました。炊出しは栗ご飯と豚汁が振舞われ、ごはんはハイゼックス米と地元提供の栗、水を耐熱袋に入れ輪ゴム止めするまで参加者自身が行うことが狙いで大変おいしく出来上がりました。

11 時頃からは役員により発電機で屋内運動場の照明を点灯する検証が行われ、発電機と配電盤を接続するケーブルがぎりぎり届き、通常の半分の照明が点灯することが確認できました。ただし、発電機の設置場所が屋内運動場脇の通路で屋内運動場の扉が完全に密閉できないため消音や排気ガスの問題が見つかりました。